

錦江町自主文化事業

歴史と伝統に裏あされた核

国内トップクラスの響きを堪能あれ

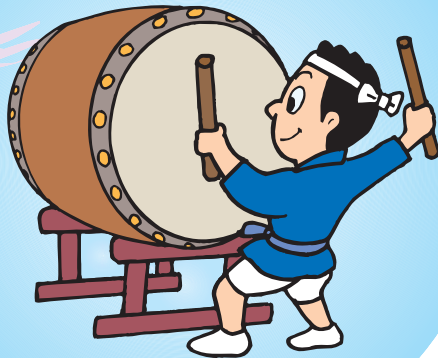
蒲生郷

てこ坊主

入場料

無料

【全席自由席】



平成**20**年**2**月**24**日(日)

午後1時30分開演 (午後1時開場)

場所：錦江町文化センター

お問い合わせ先

錦江町教育委員会教育課

☎ 22-0517

今月の一冊



何のために生きるのか
稲盛和夫
五木寛之

何のために生きるのか

稲盛 和夫
五木 寛之

京セラ・第二電電(現KDDI)創業者である稲盛氏と小説家・評論家などの顔を持つ五木氏の二人による対談本です。図書名は難しくそうですが、実際に読んでみると共感でき、感動、勇気をもしっかりと伝えてくれる貴書です。人生の途中…この本に出会ってみませんか!

●文化センター図書室にて貸し出し中●



寄贈

社会福祉協議会に宮下城茶園の宮下和志さんが「愛郷精神のもとに地域のお役に立てれば」と宅配給食車を寄贈くださいました。

宅配給食センターでは、寄贈いただいた配送車でこれからもまごころある給食を配送していきます。

気になる一枚



二輪車用押ボタン!?これは何のために…!?

▲城ヶ崎の交差点にて

受章

故 今村利文さん(鳥浜自治会)が叙勲木杯一組を受章されました。

これは、旧大根占町議会議員を3期12年務められ、町の発展に寄与されたことを評価されて木杯一組を受章されたものです。

今村さんは、生前にも受勲されており今回二度目の栄誉に輝きました。



今村妙子さん(右)

●年が明けるのを待っていたかのようにインフルエンザが猛威をふるっています。こればかりは根性ではどうにもなりません。日頃から予防に努めましょう。

●先日、一之上先輩と食事をした際、湯豆腐の土鍋が少し傾いていました。「傾きを直して」と言われた私は、素直に土鍋に手をかけました…。ジューウ。両指六本をやけどした私に対し、笑いながら携帯カメラで私の苦悶の表情を撮影している先輩を見て、「それが43歳の大人のすることか!」と心の中で叫びました。そして、氷で指を冷やしながら焼酎を飲んでる私を見て店主は(そこまでして飲むなよ!)という表情を浮かべていました。どっちもどっち?

●気になる一枚の答え。これはセンサー式の信号機に自動二輪車が反応しないために付けられたものです。あまり目に付かないので、たまにずっと信号待ちしているバイクを見かけます。

編集後記

■発行 錦江町役場

■編集 企画課

〒893-2392

鹿児島県肝属郡錦江町城元9 6 3

☎ 0994-22-3032 FAX 0994-22-1951

■錦江町ホームページアドレス

http://www.town.kinko.lg.jp